

六花

令和4年12月12日
新関小学校 学校だより 6号
〒956-0825 新潟市秋葉区下新766
TEL: 0250-22-0995 FAX: 0250-22-6529
題字: 中村 白香

本との出会いは宝物 ～子どもの読書習慣を大切にしましょう～

校長 石塚 智久

12月12日(月)から18日(日)は校内読書週間です。全国的には、公益社団法人読書推進運動協議会が春や秋に行う「子どもの読書週間」「読書週間」が知られていますが、新関小では、長期の休みにじっくりと読書を楽しんでほしいとの思いから、数年来冬休みを目前に控えたこの時期に設定しています。期間中は、教職員や読み聞かせサークル「朗読あきは」の皆さんによる読み聞かせや図書委員会の楽しい読書イベントを実施します。親子で楽しむ「親子読書」も計画していますので、お時間の許す範囲でご協力を願えると幸いです。

読書の素晴らしさについては、多くの偉人が自身の体験をもとに名言を残しています。例えばウォルト・ディズニーは次のように言っています。

宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。
そして、何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ。

貧しかったディズニーは、働きながら学校へ通い、苦勞して小さな映像制作会社を立ち上げました。愛らしいミッキーマウスが人気となり、世界初の長編カラーアニメ映画を完成するなどの画期的なアイデアを次々と実現させました。映画会社として成功を収めた後も、周りからの大きな反対に負けず新しいことに挑戦し続け、世界一のテーマパークであるディズニーランドを成功させました。挑戦し続けたディズニーの夢とアイデアは、どこから来たのでしょうか。ディズニーの言葉を考えると、幼い頃から読書で育んだ興味と好奇心が、その源になっていたのかもしれない。興味と好奇心を掻き立てる本との出会いは、まさに「宝物」と言えるでしょう。

興味と好奇心を育むだけでなく、読書が人の発達に及ぼす効果について、多くの研究者が指摘しています。心理学博士の榎本博明さんは、著書『読書をする子は〇〇がすごい』(2021, 日経 BP マーケティング)で、テレビや YouTube のように受け身で視聴するのではなく、能動的に自ら読み進める読書には次の良さがあると述べています。

- ・語彙が身に付き読解力が高まる。知識や経験が豊かになり、説得力のある意見を発信できる。
- ・自分以外の視点が手に入り、自分中心ではなく、他者への寛容さが身に付く。
- ・時間をかけて読み進めることで、粘り強く続ける力が身に付く。
- ・いろいろなものの見方や考え方に触れ、ものごとをよく考えるようになる。

読書がもたらす発達への効果を、すでに18世紀のイギリスの小説家リチャード・スティールは次のような言葉で表しています。

心にとっての読書は、身体にとっての運動と同じである。

運動によって体が鍛えられ、身体能力が高まるのと同じように、読書の経験を重ねることで、心と脳が強くなり育っていくのです。

新関小学校は、読書週間や長期休みはもちろん、普段から読書の時間を大切にしています。全国学校図書館協議会の調査によると、令和4年5月の小学生の1か月の読書冊数は、全国平均で13.2冊です。新関小の同月の学校図書館貸し出し冊数は、一人あたり14.8冊です。数値のみで測れるものではありませんが、新関小の子どもは本によく親しんでいることが分かります。(ちなみに多く貸し出された本のジャンルの割合を見ると、絵本41.2%, 文学作品33.9%, 自然科学7.8%となっています。)

心に残る素敵な一冊と出会い、楽しみながら豊かな育ちにつながる子どもの読書習慣の形成のために、ご家庭と学校とで力を合わせていきたいと考えています。

- ※ 校内読書週間の取組は、新型コロナウイルスの感染状況により延期や変更になる場合があります。ご了承ください。



【秋葉区役所「市民サロン」にて新関小学校の活動が紹介されます】

令和5年1月11日(水)～1月23日(金) ぜひご覧ください。

12月の生活目標「みんなのものを大切に使う」

- つくえやいすを大切に使う。
- 掃除用具を大切に使う。 ○ 遊び道具をなかよく使う。



12・1月の予定

【12月】

- 11日(日) コミ協杯(ミニバス)
- 12日(月) 読書週間(～18日)
- 16日(金) 体カパワーアップ週間(～22日)
- 21日(水) 学校保健委員会
- 23日(金) 授業最終日, 給食最終日
4時間授業日
- 26日(月) 冬季休業日(～1月9日まで)



【1月】

- 10日(火) 授業再開日, 給食再開日
4時間授業, 全校朝会
- 11日(水) のびのび健診, 市小研
- 12日(木) 校内書き初め大会
- 13日(金) PTA 三役会
- 18日(水) スクールカウンセラー勤務日
- 23日(月) 校内書き初め展, 給食週間
- 24日(火) 学習参観日, 学年懇談会
- 31日(火) 全校朝会

ビッグスカイフェスティバル

子どもたちは、店員とお客に分かれて楽しみました。保護者の皆様、たくさんお越しいただきありがとうございました。



【シリーズ 特別支援教育①】

勉強も「カスタマイズ」する時代です 「個別最適な学び」

格安スマホの会社から電話がありました。話を聞くと、通話やインターネットを使う時間、自宅の電話やWi-Fiによって、様々な料金プランがあることが分かりました。営業の方は、使い方に合わせてプランを「カスタマイズ」できることをアピールしていました。

学習も「カスタマイズ」する時代です。例えば、漢字の学習。全員一律に「5回ずつ練習」のような方法では、3回で覚えられる子には多すぎて、10回書かないと自信がもてない子には少なすぎます。子どもは一人一人違うのですから、全員が同じ内容や分量に取り組む学習は、実は非効率的です。

これからは、学校での学びも一人一人の得意・不得意や興味・関心に合わせて「カスタマイズ」する方向へ進んでいきます。これを「個別最適な学び」と言います。新関小では、数年前から一律の宿題を減らし、自分で学習内容を決める「チャレンジ自学」を推進してきました。これは、家庭学習の「カスタマイズ」です。さらに今年度は、一人一人が主体的に学び方を選択できるような授業の工夫に取り組んでいます。

(特別支援コーディネーター 井上 幸信)



